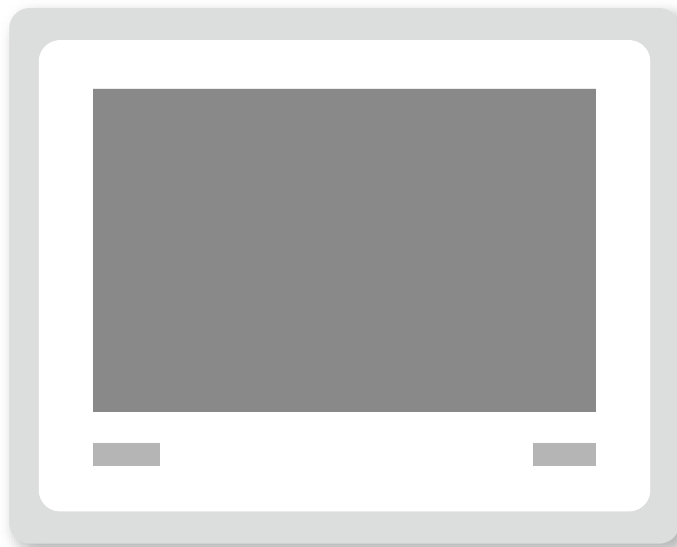
iiZA

中野エンジニアリング株式会社

地上波デジタル対応14型ワイド浴室テレビ

型名　WP-1400

施工要領書

● この施工要領書は、試運転が完了するまで捨てないでください。

● 試運転は電気工事終了後に行いますので、元請店へ依頼のうえ、施工要領書をお渡しください。

● システムバスルームに取り付ける場合は、この施工要領書とシステムバスルーム施工要領書を合わせてご覧ください。

目　次　CONTENTS

安全上のご注意（必ずお守りください）

取付け工事の前に、この安全上の注意をよくお読みの上、正しく据付けてください。

● この施工要領書では、製品を安全に正しく取付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事業者への危害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

● 下に示す絵表示は施工要領書や製品に表示して、工事業者の方に安全に正しく製品を取付けていただくものです。
内容をよく理解して正しく取付けてください。

禁止	この絵表示は、行ってはいけない「禁止」の内容です。
必ず実行	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
アース線接続	この絵表示は、必ずアース線を接続していただく「強制」の内容です。

● 取付け工事完了後、試運転及び各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電・水漏れなどの安全上の不具合が無いことを確かめてください。

● 同梱されている **取扱説明書は、** 使用者に製品を正しく安全に使用していただくための **重要な書類** です。 紛失や汚れのないように大切に保管し、工事完了後、**必ず使用者または建築工事責任者にお渡しください。**

⚠ 警告

設置は、施工要領書にしたがって確実に行う
設置が不完全な場合、感電や火災などの原因となります。
また、漏水により家財などを汚したり、腐らせるおそれがあります。

交流100V以外は使用しない
感電や発熱・火災の原因となるおそれがあります。

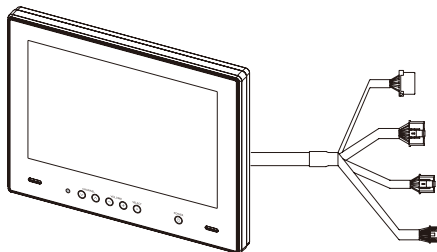
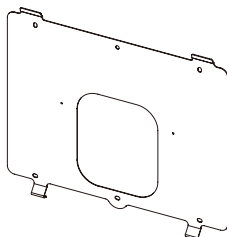
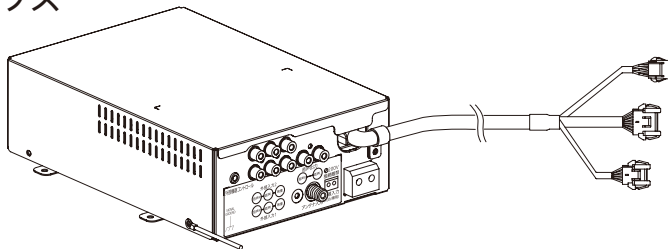
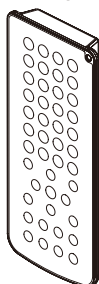
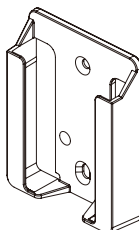
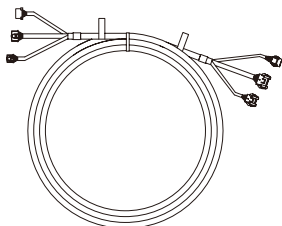
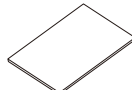
電気工事は関連する法令・法規にしたがって、必ず「有資格者（電気工事士）」が行う
接続や固定が不完全な場合は、火災や漏電のおそれがあります。

漏電遮断器が取付けられていることを確認する
もし取付けられていなければ電気工事店へ依頼して必ず取付けてください。感電するおそれがあります。

開梱後、不要になった梱包材はすみやかに処分する
段ボールや締付バンドなどでケガをするおそれがあります。
また、ビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

製品の改造や分解は行わない
火災や感電、落下による傷害のおそれがあります。

⚠ 注意

工事に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は、容器などに記載の注意表示にしたがって、正しく使用する
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因につながるおそれがあります。

機器の取付けは、確実に行う
止水不良による漏水のおそれがあります。

⚠ 取付け前のご注意

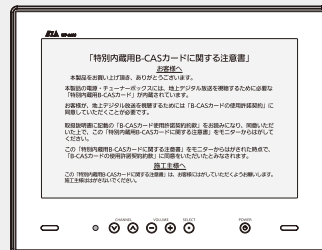
- テレビ取付けの際、必要に応じ壁裏補強を実施してください。
- スチームサウナ等、高温（50℃を超える）になる場合には取付けはできません。
- 浴室乾燥機のある浴室に取付ける場合は、温風が浴室テレビに直接あたらない場所をお選びください。
- 屋外から直射日光のあたる場所への取付けは避けてください。
- 薬品を使用するなど通常環境と異なる場所への取付けはできません。
- 正面から浴室テレビを見ることができる位置に取付けてください。
- 受信可能チャンネルは地上アナログ放送VHF（1～12）、UHF（13～62）、CATV（C13～C63）、地上デジタル放送001～999です。BS、CS放送等のチューナーは内蔵していません。
- このテレビは日本国内のみで使用できます。外国では、放送方式・電源電圧が異なりますので使用できません。

施工の前に

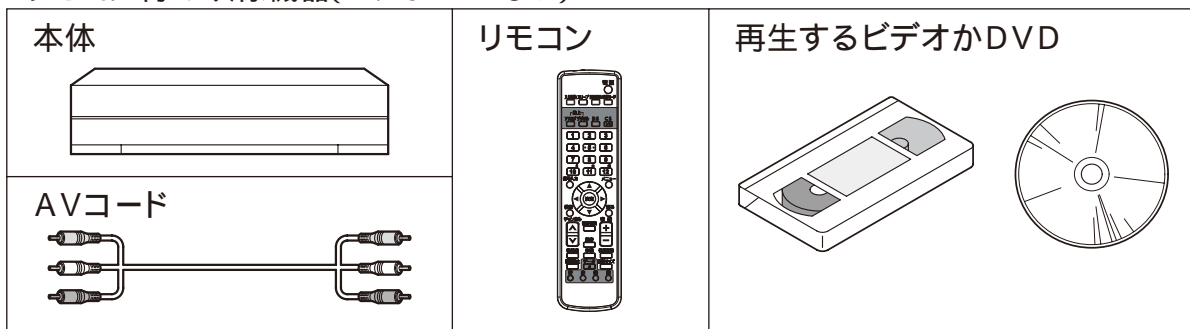
セット部品の確認

**★リモコン、リモコンホルダー、リモコンホルダー用両面テープ、ボタン型電池、取扱説明書、保証書は、お客様または建築工事責任者に確実にお渡しください。
また保管の際は直射日光のあたる場所（窓際など）に置かないでください。**

⚠ 注意

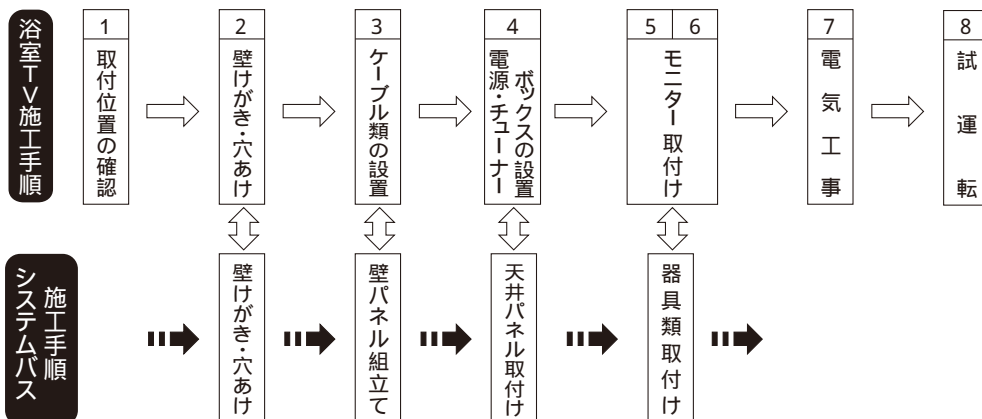
モニターに貼り付けてある「特別内蔵用B-CASカードに関する注意書」は、お客様にはがしていただくようお願いします。
お客様に引渡しをされるまで、施工中にはがしたり、はがれてしまうことのないようにしてください。

試運転（元請店実施）に必要な部材

お客様がテレビと外部機器の接続を希望される場合のみ必要です。

リモコン付の映像機器（ビデオ・DVDなど）

施工手順

※システムバスルーム取付けの場合は、システムバスルーム施工にあわせて施工してください。
※在来浴室取付けや後付けの場合は現場にあわせて変更してください。

システム図（テレビ接続部分）

⚠注意

- 落雷に備えて、アンテナ設備にアースを取るか、保安器を必ず設置してください。

⚠注意

- 工事の際は、必ず屋内開閉器（ブレーカー）と漏電遮断器を設置してください。

※電気工事で配線します。

VHFアンテナ（市販品）

UHFアンテナ（市販品）
※地上デジタル放送を受信する為には、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。

UV混合器（市販品）

CATV
※CATVへの接続については各CATV会社　にご確認ください。

保安器（市販品）

ブースター（市販品）
（アンテナから送られてくる電波が弱く受信障害となる場合は、ブースタ（増幅器）を設置してください。電波が強すぎて受信障害となる場合は、アッテネータ（減衰器）を用いて受信感度を弱めてください。）

アース

アース

壁面端子

分配器（市販品）

漏電遮断器

室内開閉器（ブレーカー）

破線囲み部分以外は、全て電気工事区分です。

電源・チューナーボックス

アンテナ線 同軸5C相当

機能アース（安全アースではありません）

DVD/ビデオ等（AV出力がある物）
注）接続方法は次頁を参照してください。

ここで信号レベル55～85dBμVが必要です。

ユニットバス工事（破線内）

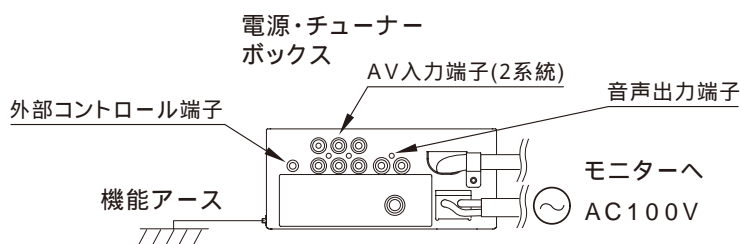
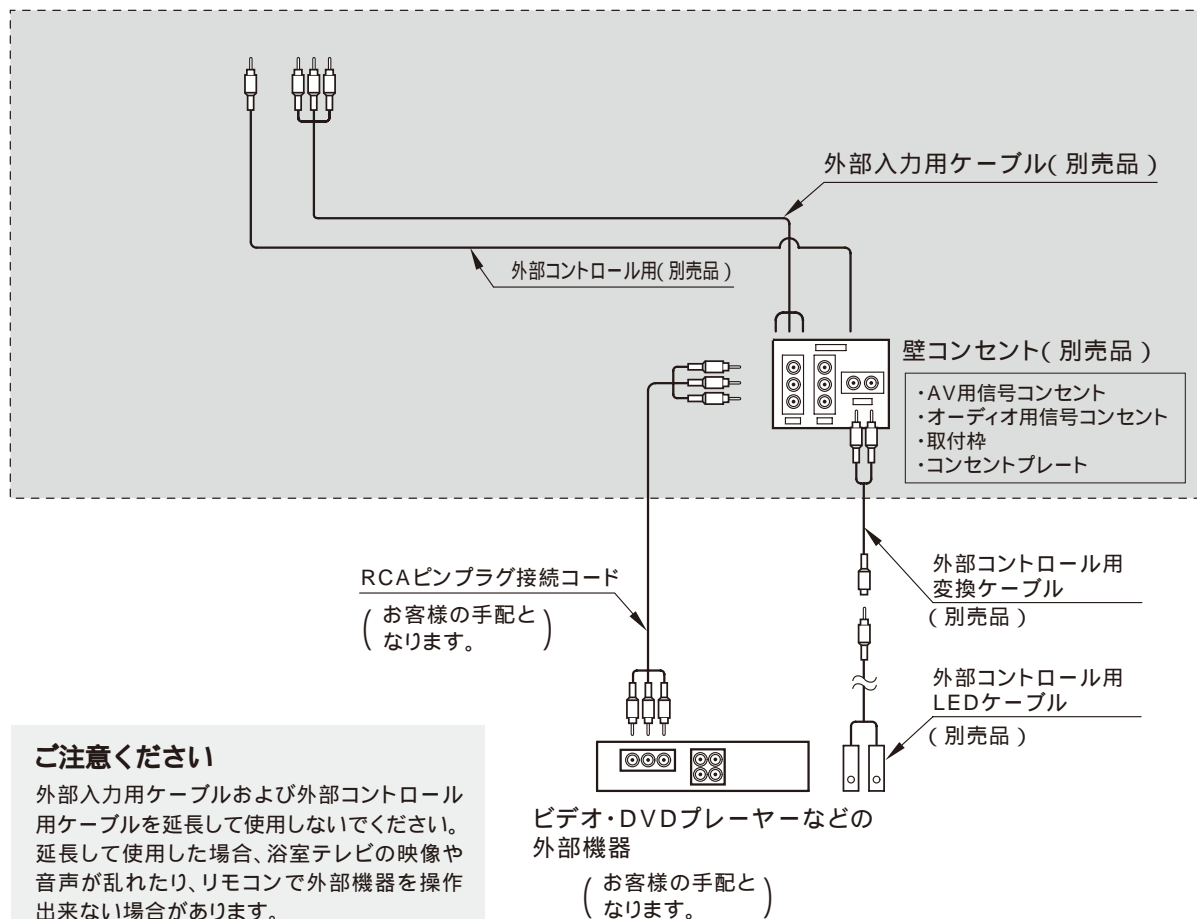
モニター

モニター中継ケーブル（7m）
注）中継ケーブルを塩ビ管又は電線管を使用し施工する場合は内径φ36以上の塩ビ管又は電線管を使用してください。

システム図（外部機器接続部分）

⚠注意

【施工前に、お客様にご確認ください】

- お客様が浴室テレビと外部機器の接続を希望される場合は、下記の別売品の手配および取付が必要となります。
  ※別売品については、弊社までご連絡ください。（裏表紙記載）

内が電気工事店様の作業範囲となります。　電気工事（材工別）

ご注意ください

外部入力用ケーブルおよび外部コントロール用ケーブルを延長して使用しないでください。延長して使用した場合、浴室テレビの映像や音声が乱れたり、リモコンで外部機器を操作出来ない場合があります。

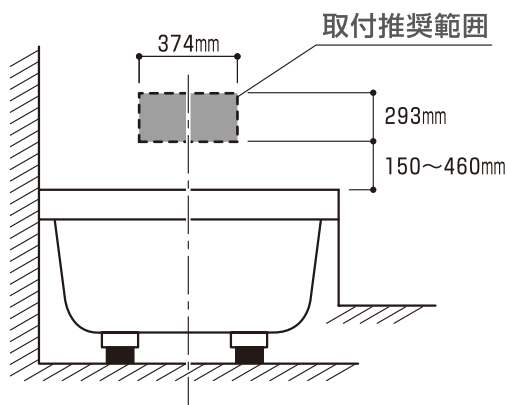
⚠注意

【施工前にご確認ください】

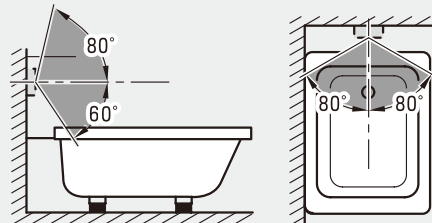
- 外部入力用ケーブルおよび外部コントロール用ケーブルの長さは20mです。
  電源・チューナーボックスから壁コンセントまでケーブル配線が可能か確認してください。
- 壁コンセント設置位置はお客様と十分ご相談ください。
  ケーブルが届く範囲に壁コンセントを確実に設置できるか確認してください。

セット本体施工要領

1 取付位置の確認

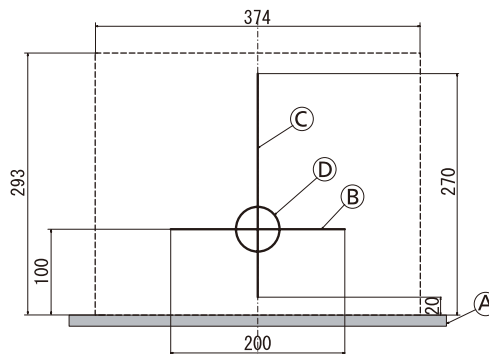
浴室テレビのモニター取付位置は取付推奨範囲を参考にして、浴槽の中からモニターを正面に見ることのできる位置に決めてください。

取付位置推奨範囲は、取付位置の目安です。
浴室に合わせて、お客様のご希望の位置に変更することが可能です。

⚠ 注意

- モニターの視野角（よく見える範囲）は上が80°、下が60°、左右80°です。

- 水栓金具や壁裏配管などとの取合いに十分ご注意ください。
- 浴室暖房機のある浴室に取付ける場合は温風が直接あたらない位置に取付けてください。
- 浴室テレビモニターの上側と左右両側に、シリコンを塗布できるよう周囲のスペースを確保してください。
- 直射日光のあたる場所へは取付けないでください。

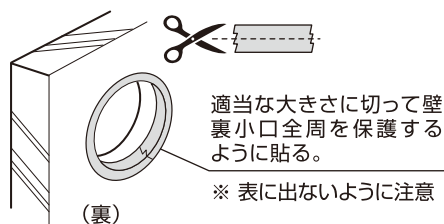
2 壁けがき・穴あけ

①モニター取付位置をけがき、右記寸法で位置出し用のけがき線をかく。

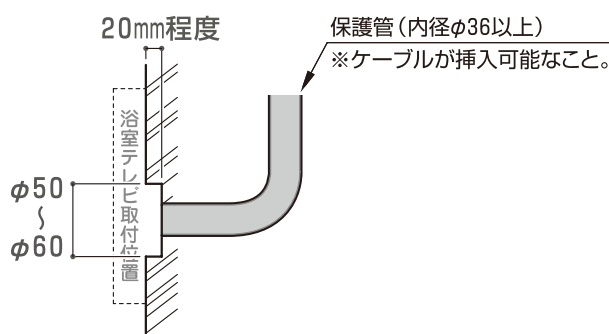
Ⓐ モニター本体の下位置決め用にテープを貼り付け（マスキングまたはビニールテープ）
Ⓑ 水平位置出し用のけがき線をかく
Ⓒ 垂直位置出し用のけがき線をかく
Ⓓ ケーブル穴のけがき線をかく

②穴あけ

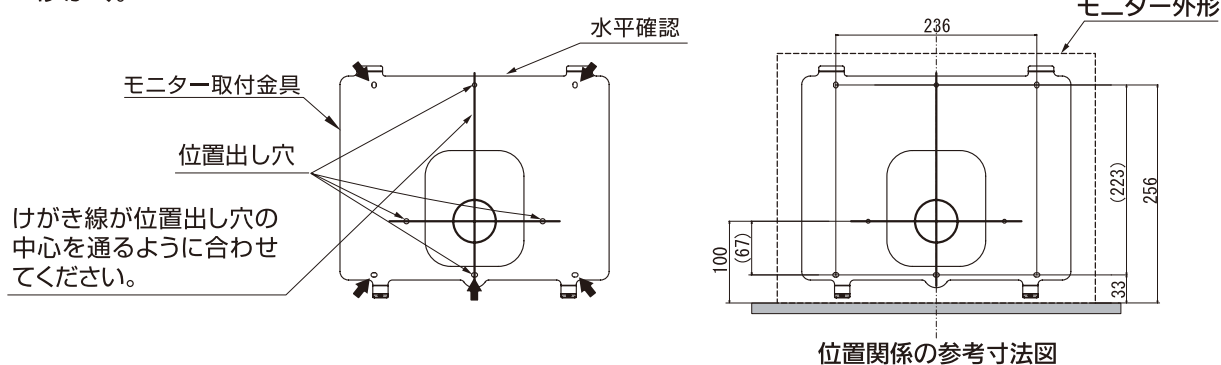
システムバスの場合

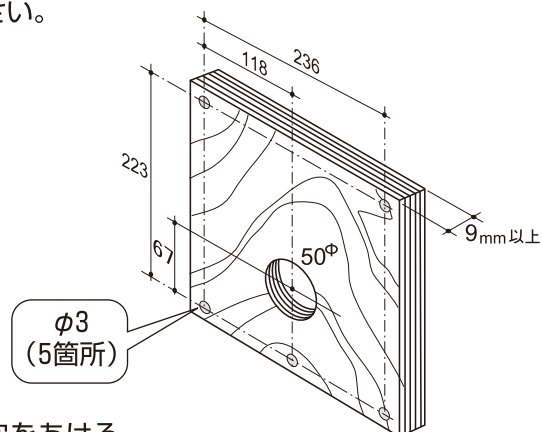
外形下から100mmのけがき線の中央にφ50の穴を開け、壁裏側小口にアルミテープを貼る。

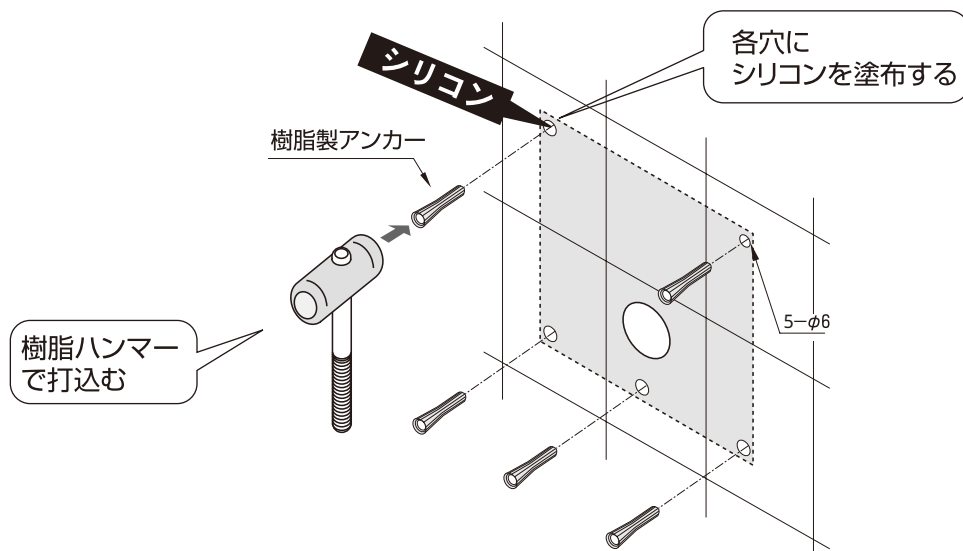
⚠ 注意

- コード類の保護のため、必ず壁裏側小口にアルミテープを貼ってください。

在来浴室屋内配線の場合

外形下から100mmのけがき線の中央にφ50～60の空間を設け、ケーブル類を通す保護管を設置する。

2 壁けがき・穴あけ

③モニター取付金具を壁にあてた状態で水準器で水平を出しながら、固定用ねじ位置（5ヵ所）をけがく。

※取付ける壁の材質によって取付強度を確保できない場合は、下図のような裏打ち板をあらかじめ壁の裏側に貼り付けてください。

【例:防水ベニヤ】

④固定用ねじ位置に下穴をあける。
壁面に直接ねじで固定できる場合はφ2.8。
タイル壁設置の場合は、付属の樹脂製アンカーを使用してください。
同梱の樹脂製アンカーを使用する場合はφ6にしてください。

【タイル壁の場合】
※タイル壁設置の場合は、下穴を開け付属の樹脂製アンカーを使用してください。

セット本体施工要領

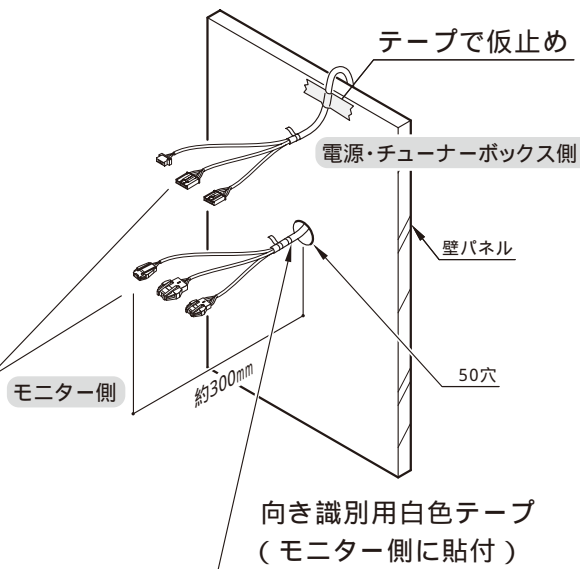
3 ケーブル設置

システムバス配線の場合

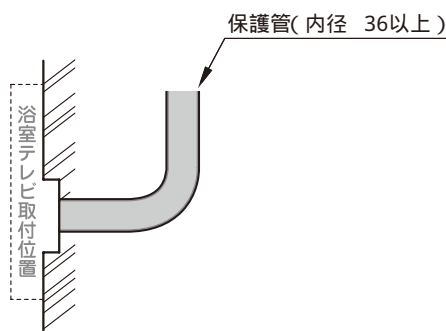
壁パネル組立ての際、モニター中継ケーブルをφ50の穴に通し、反対側を壁パネル上側から内側に向けてかけ、落ちないようテープなどで仮固定する。

中継ケーブルのラベル（モニター側/電源・チューナーボックス側）を確認の上、正しい向きに設置してください。

⚠ 注意

- モニター中継ケーブルには向きがあります。（向き識別用白色テープ貼付がモニター側です。）向きを間違えた場合、接続ができませんので、十分にご確認の上で設置してください。

在来浴室屋内配線の場合

配置した保護管に、中継ケーブルを通す。

⚠ 注意

- 付属のモニター中継ケーブルの長さは7mです。
  ケーブルの届く範囲内に電源・チューナーボックスを設置してください。7m以上必要な場合は、別売品の延長用モニター中継ケーブル（30ページ）を使用していただくと14mまで延長可能になります。
- 在来浴室屋内配線の場合は、ケーブルは必ず内径φ36以上の保護管の中を通してください。環境により劣化が早まるおそれがあります。
- コネクタは防水仕様ではありませんので、必ず防水処置を行ってください。
- 本製品は、屋外設置に対応しておりません。屋外設置をされる場合は、弊社（裏表紙記載）までお問合せください。

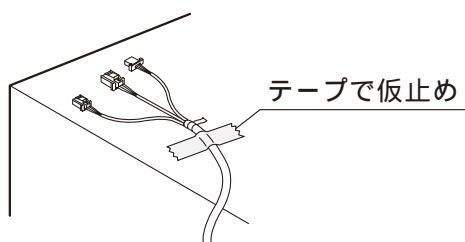
4 電源・チューナーボックスの設置

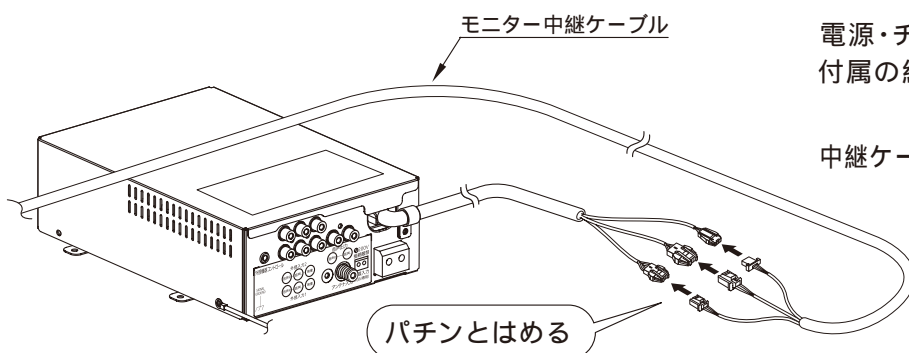
⚠注意

必ず実行

- 電源・チューナーボックスは必ず点検できる位置に設置してください。
- 中継ケーブルはなるべく他の電気機器から遠ざけて配線してください。
- 両面テープで貼付ける際、貼付け面のほこりなどをあらかじめ掃除してください。
- 中継ケーブルを接続後に、VVFケーブルを接続するようにしてください。

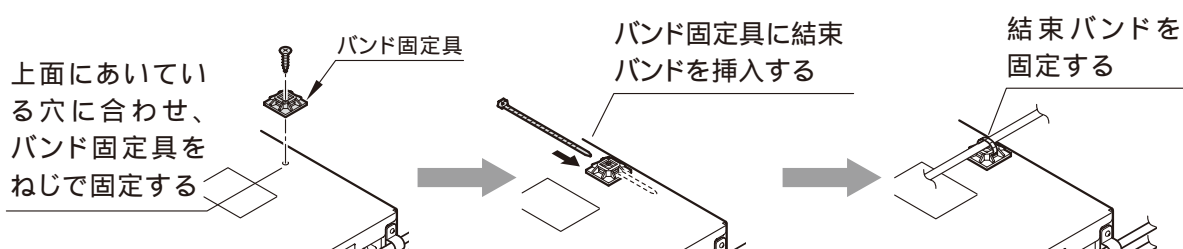
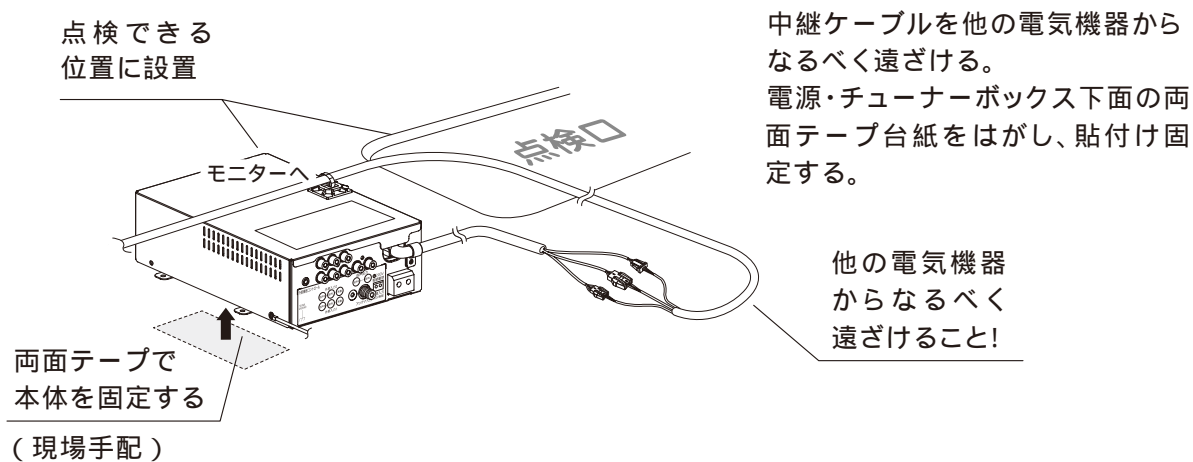
禁止

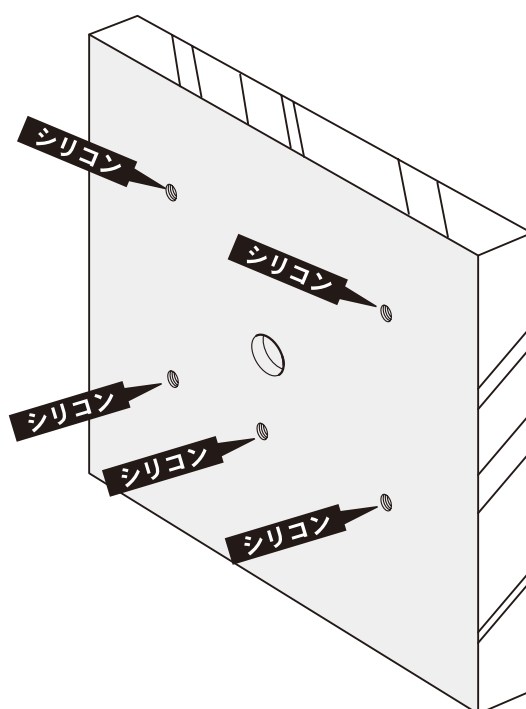
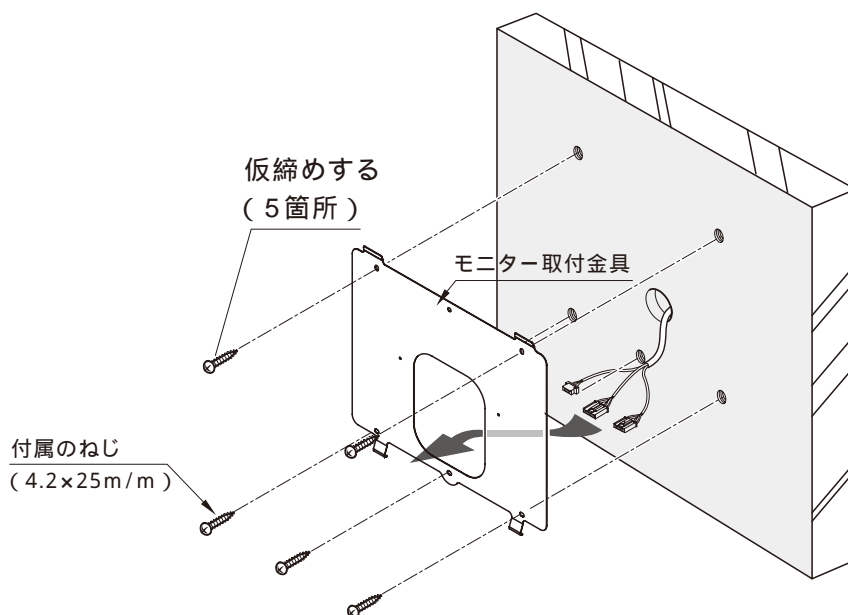
- 電源・チューナーボックスの上や横を保温材で覆わない。
- 電源・チューナーボックスを換気ダクトの周囲に設置しない。

①電源・チューナーボックスに接続するまでは、モニター中継ケーブルを見失わないように、天井裏面や梁などにテープなどで仮固定する。

②電源・チューナーボックスに付属のケーブルとモニター中継ケーブルを接続する。（3個）

③電源・チューナーボックスの上面に付属の結束バンドを取付ける。

④中継ケーブルを結束バンドで固定する。

4　電源・チューナーボックスの設置（つづき）

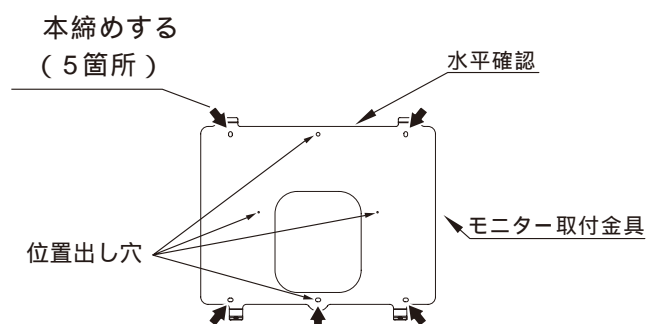
⑤中継ケーブルを他の電気機器からなるべく遠ざける。
⑥電源・チューナーボックス下面の両面テープ台紙をはがし、貼付け固定する。

5　モニター取付金具の設置

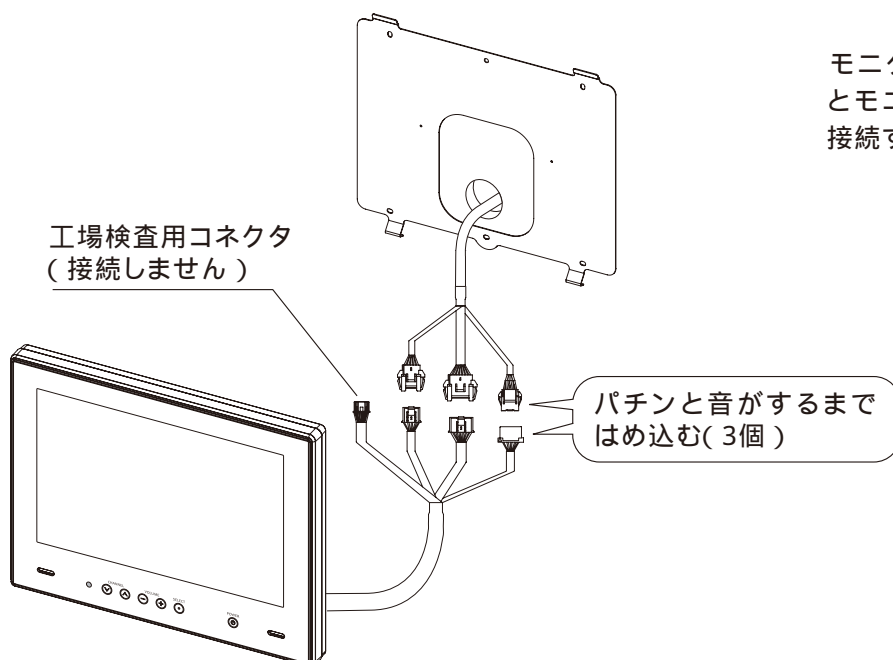
①「2　壁けがき・穴あけ」④固定用ねじの下穴にシリコンを塗布する。

5 モニター取付金具の設置

①モニター取付金具に付属のねじ（4.2×25）で、モニター取付金具を仮締めする。

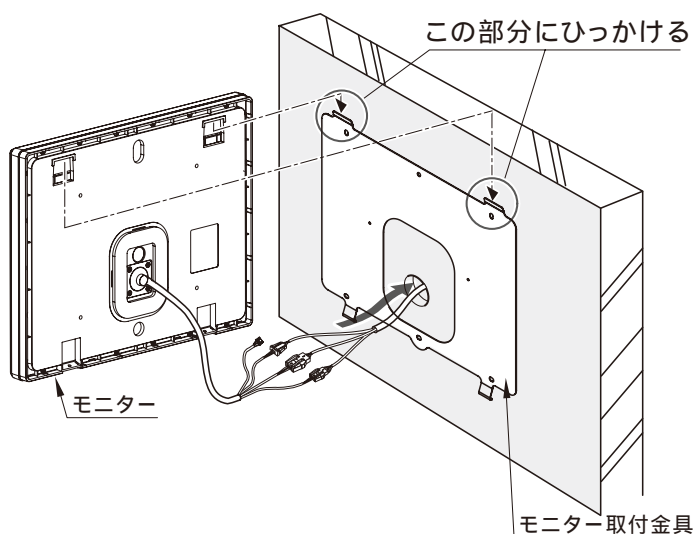
⚠注意

- このあと水平レベル出しを行いますので、本締めはせず、仮締めを行ってください。

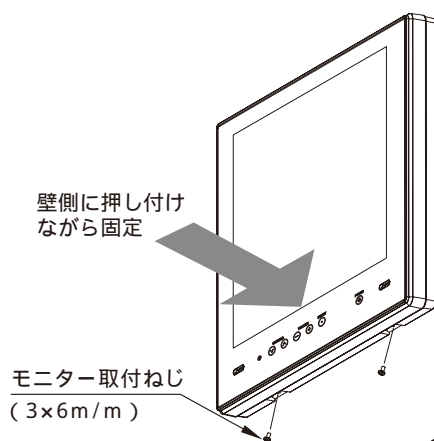
②モニター取付金具を仮設置した状態で水準器で水平に出しながら、ねじを本締めする。

⚠注意

- 本締めを行う際は、取付金具が反らないよう注意して行ってください。

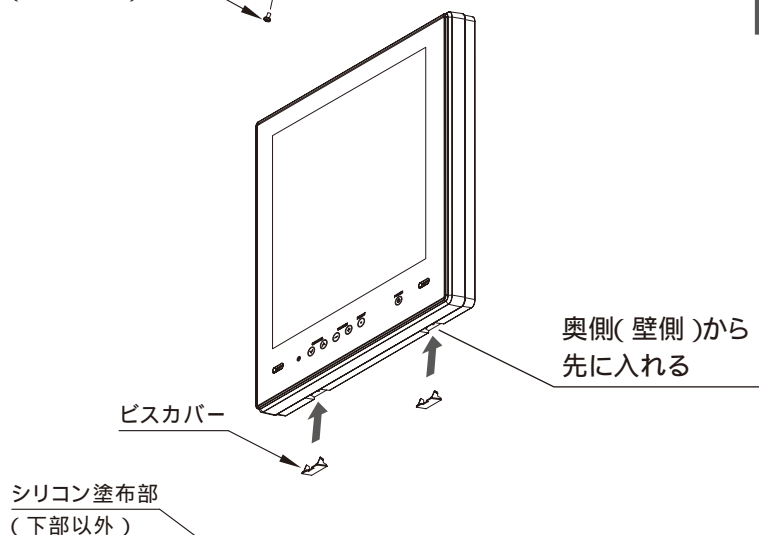
6 モニターの取付け

①モニターに付属のケーブルとモニター中継ケーブルを接続する。

6　モニターの取付け（つづき）

②壁裏にケーブル類を納めながら、モニターをモニター取付金具にひっかける。

⚠注意

- モニター取付金具に確実に取り付けてください。
  モニターが落下し、破損するおそれがあります。

③モニターを壁側へ押しつけながら、モニター取付ねじ（ビスカバーに同梱）でモニターをモニター取付金具に固定する。

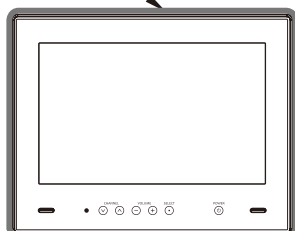
⚠注意

- ねじの締付けは、必ず手締めで行ってください。
  電動ドライバーを使用するとねじ部が破損するおそれがあります。

④ビスカバーを取付ける。

⑤モニターの下辺を除く3辺にシリコンを切れ目なく塗布する。

⚠注意

確実な塗布を行う

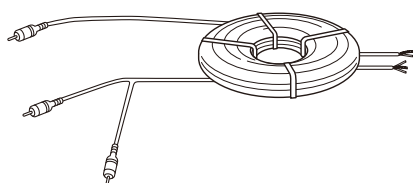
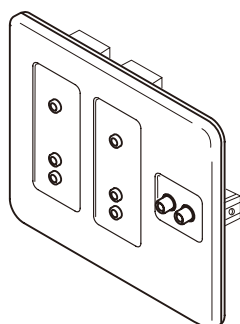
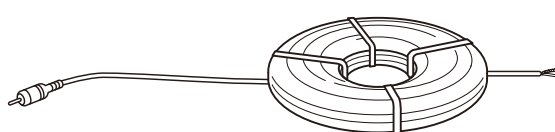
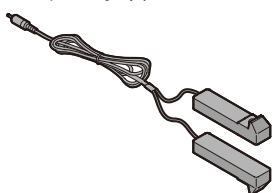
- 塗布が不備の場合は、モニター内に水が侵入し故障する原因となります。
- 使用するシリコンの色は基本的に白としてください。

共通施工要領

電気工事店様作業項目

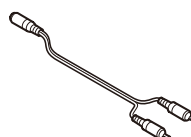
7　必要部材の準備（外部機器と接続をされる場合）

はじめに

【施工前にお客様にご確認ください】
お客様が浴室テレビと外部機器の接続を希望される場合は、下記の別売品が必要となります。
※別売品については、弊社までご連絡ください。（裏表紙記載）

外部入力用ケーブル×2

外部コントロール用ケーブル

部品	数量
AV用信号コンセント	2
オーディオ用信号コンセント	1
取付枠	3
プレート（プレートカバー、プレート枠）	1

LEDケーブル

外部コントロール用変換ケーブル

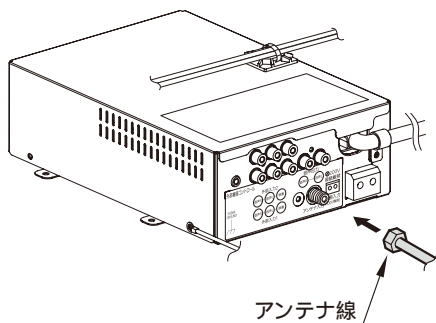
⚠注意

- 外部入力用ケーブルおよび外部コントロール用ケーブルの長さは20mです。電源・チューナーボックスから壁コンセントまで壁裏ケーブル配線が可能か確認してください。
- 浴室内からリモコンで外部機器を操作するには、別売品の外部コントロール用LEDケーブル、外部コントロール用変換ケーブルが必要です。
- 別売品については、弊社までご連絡ください。（裏表紙記載）

※別売品の仕様および外観は機器改良の為、予告なく変更することがあります。

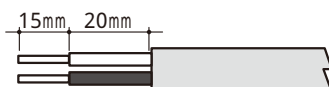
8 電源ケーブル・アンテナ線の接続

電気工事は電工事業者へ依頼してください。

①電源・チューナーボックスにアンテナ線を接続する。
※電源・チューナーボックスのF型コネクタ（アンテナ入力端子）に接続してください。

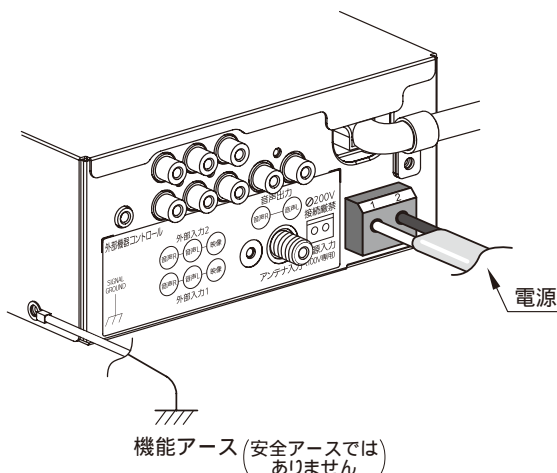
⚠注意

- 電源・チューナーボックスに接続する前に、必ず地上波デジタルに対応したレベルメーターでアンテナ端子の信号レベルを確認してください。
  アンテナ端子への信号レベルは55～85dBμV（70dBμVを目安）にしてください。
- 受信可能な放送は地上アナログ放送／地上デジタル放送／CATVです。BS、CS放送等のチューナーは内蔵していません。

②AC100V電源に接続された電源ケーブル（VVF）を下記の様に加工してください。。

⚠注意

必ず漏電遮断器および屋内開閉器のある電路に接続する
- 感電するおそれがあります。

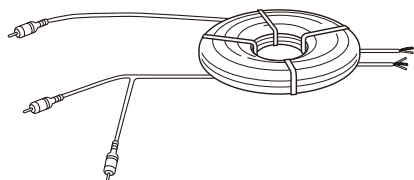
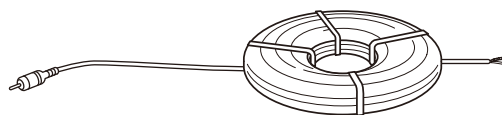
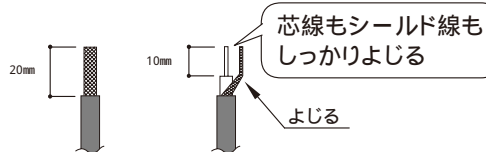
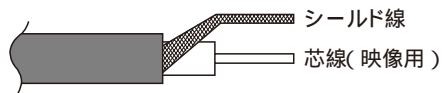
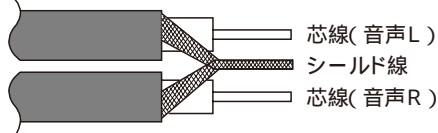
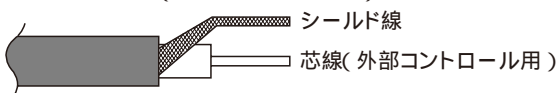
③電源ケーブルを接続する。

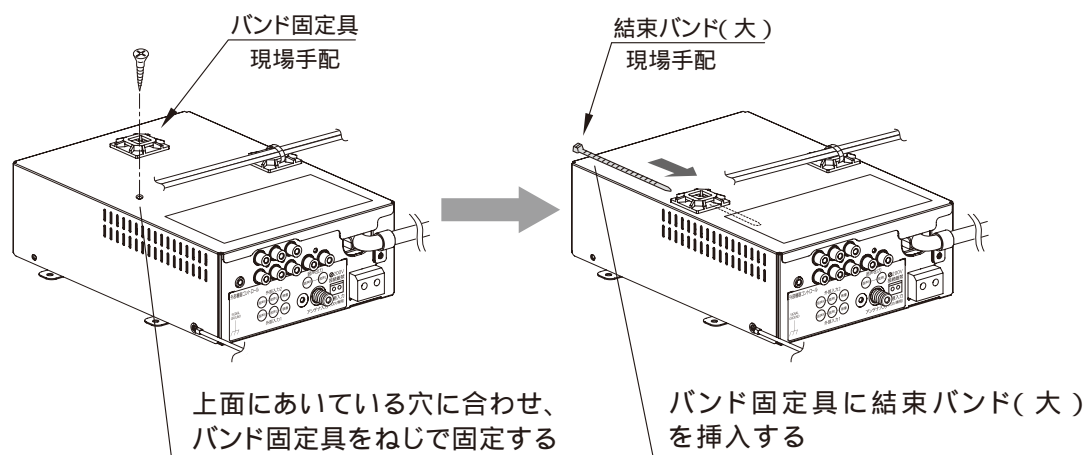
※電源・チューナーボックス付属の電源端子に加工した電源ケーブルを接続してください。
※アース工事（接地工事）を必ず行ってください。

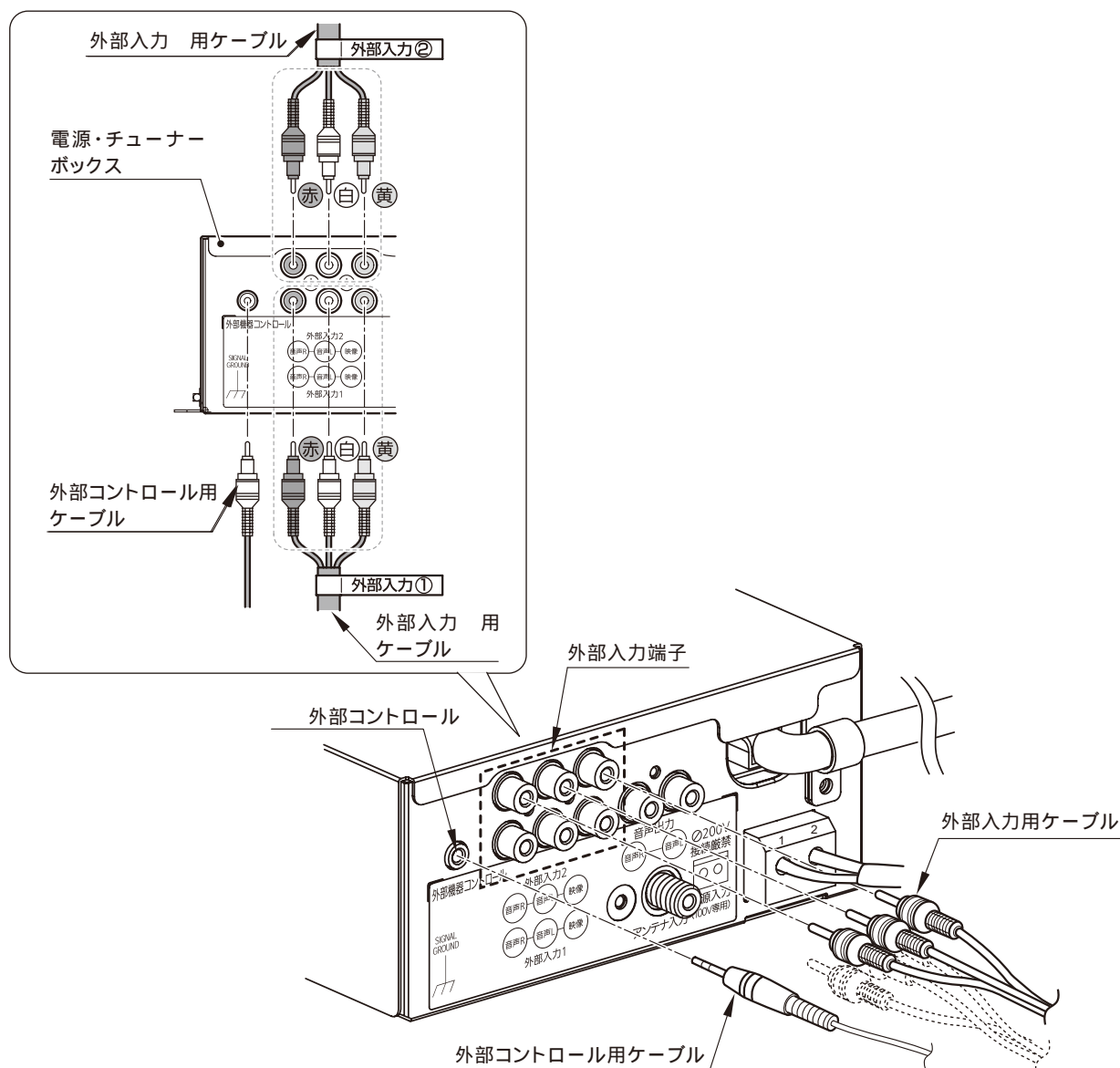
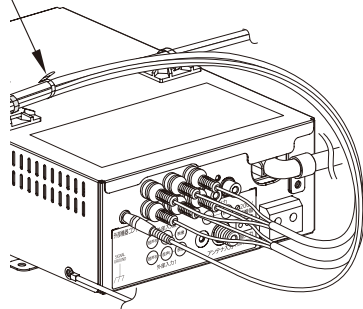
⚠警告

電気工事は関連する法令・法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が行う
また、アース接続は必ず行う
- 誤った工事を行うと、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

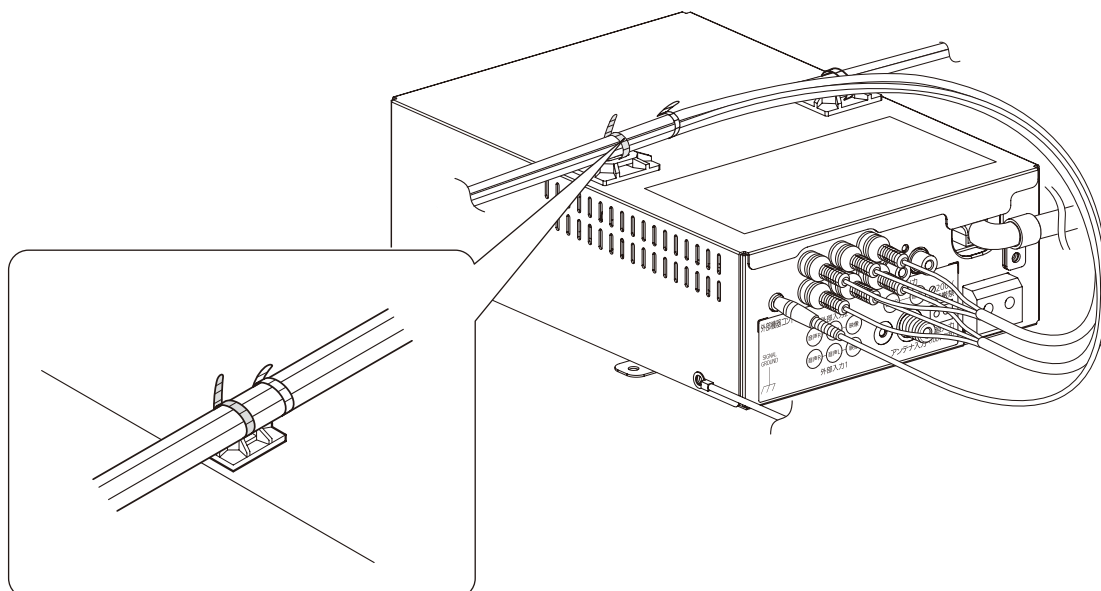
9　外部機器用ケーブルの接続

はじめに
お客様がテレビと外部機器の接続を希望される場合は、以下の施工が必要となります。

①ケーブルを設置する。

9　外部機器用ケーブルの接続（つづき）

②電源　チューナーボックスの接続の上面に結束バンド（大）〈現場手配〉を取付ける。

③外部入力用ケーブルと、外部コントロール用ケーブルを電源・チューナーボックスに接続する。

外部入力②用ケーブル
外部入力②
電源・チューナー
ボックス
赤 白 黄
外部コントロール用
ケーブル
外部入力①
外部入力①用
ケーブル
外部入力端子
外部コントロール
外部入力用ケーブル
外部コントロール用ケーブル

9　外部機器用ケーブルの接続（つづき）

④ケーブルをまとめて結束バンド（小）〈現場手配〉で固定する。

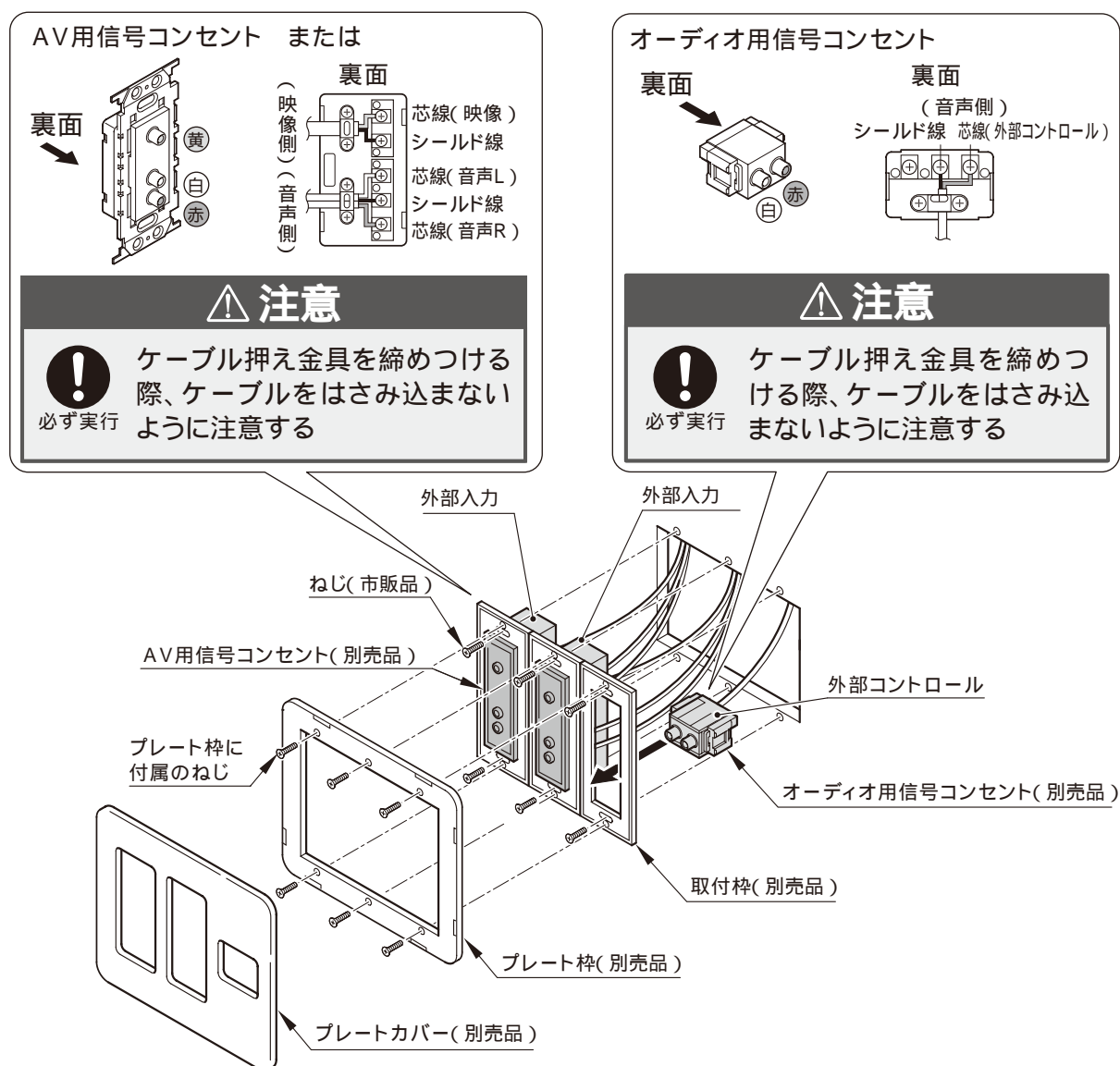
④先に固定した結束バンド（小）〈現場手配〉がバンド固定具の内側になるように結束バンド（大）で固定する。

⚠ 注意

必ず実行

外部機器との接続ケーブルがあまった場合、ケーブルを束ねない

- 束ねると外部機器の操作に支障が生じる可能性があります。

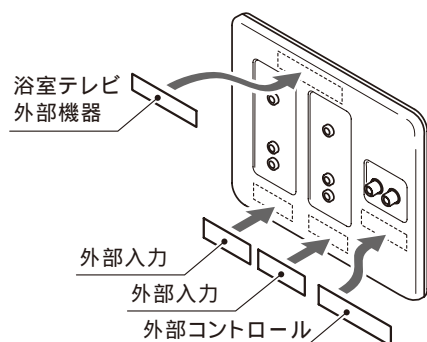
10 壁コンセントの取付け〈材工別〉

①別売品のAV用信号コンセント、オーディオ用信号コンセント、取付枠、プレート枠、プレートカバー、外部入力用ケーブル、外部コントロール用ケーブルを用意する。
②AV用信号コンセントとオーディオ用信号コンセントの裏面に外部入力用ケーブルを接続する。
③別売品の取付枠を壁に取付ける。（市販のねじ6本使用）
④プレート枠を取付枠に取付ける。（プレート枠に付属のねじ6本使用）
⑤プレートカバーをはめ込む。

⚠注意

【壁開口前にご確認ください】

電源・チューナーボックスから壁コンセントまでのケーブルが届くことを確認する
壁コンセントから外部機器までケーブルが届くことを確認する。

必ず実行

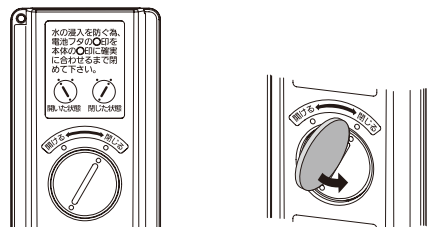
11 ラベルの貼付け〈材工別〉

化粧プレートにコンセントラベル〈材工別〉を貼付け壁面に取付ける。

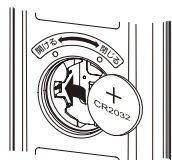
電気工事店様の施工は終了です。
試運転は元請店様へご依頼ください。

12 試運転　　元請店様実施事項

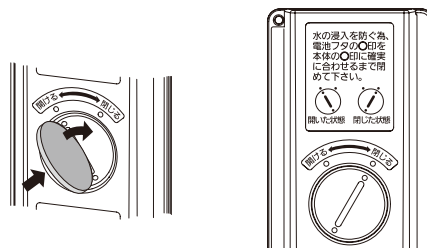
ボタン型電池を入れる

コインなどを使って、リモコン背面の電池ふたを回して開ける。

＊電池ふたをなくさないよう、ご注意ください。
＊電池ふたを開ける時は、リモコン内部に水が入らないように注意してください。

2 電池（リチウム電池CR2032）の＋と−の向きを正しく入れる。（プラス⊕が見えるように!）

＊指定以外の電池は使用しないでください。

電池を入れる穴の左側から電池を差し込んで入れます。

3 電池ふたを溝に合わせて取り付け、押さえるようにしながらコインなどを使って「閉じる」の位置まで確実に閉める。

＊電池ふたとリモコンの●印を確実に合わせてください。

お知らせ

※付属品の電池は動作確認用ですので、保存状態により短期間で消耗することがあります。
※長い間使用しないときは、電池をリモコンから取り出しておいてください。

リモコンホルダーを取付ける

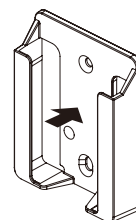
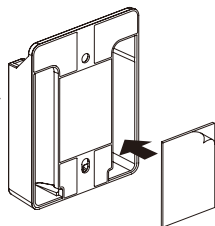
取付面の汚れや水滴をよく拭き取る。

両面テープをホルダーに貼付け、保護紙をはがす。

3 お好みの位置に貼付ける。

※直射日光の当たらない位置に貼付けてください。
※必ず壁に貼付けてください。
※壁のつなぎ部分には貼付けないでください。
※気温の低いときは、両面テープをドライヤーなどであたためてから貼付けてください。

4 上から強く押して確実に貼付け、リモコンを挿入しない状態で24時間以上放置してください。

※ねじでの固定を推奨します。

お知らせ

※リモコンが出し入れできることをご確認の上、リモコンホルダー貼付け位置を決めてください。
※リモコンをホルダーに入れた状態ではリモコンの電波はテレビに届きません。
※リモコンはテレビに向かって操作してください。

12 試運転（つづき）

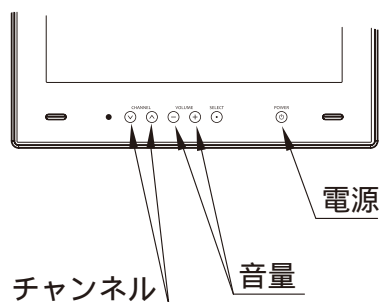
⚠注意

必ず実行

【試運転前にご確認ください】

ブレーカーを「入」にする前に、モニター操作部に何も触れていないか確認してください。

- **モニターに貼られている「特別内蔵用B-CASカードに関する注意書」は、試運転前に操作部に触れないよう仮止めして、試運転後に元に戻してください。**

1次側電源接続後に確認してください

①モニターの電源ボタンを電源が入るまで押し続け、電源が入ることを確認してください。

※電源ランプが点灯しない、あるいは点灯しても画面に何も表示されない場合は、再度中継ケーブルが正しく接続されていることを確認し、ブレーカー（AC100V）を「切」/「入」してください。ブレーカーを「入」にして約1分待った後、モニターの電源ボタンを押してください。

②「入力切換」ボタンを押し、画面が「テレビ」→「ビデオ1」→「ビデオ2」と切換わることを確認後、「放送切換」ボタンを押し、「テレビ」にしてください。

③24ページの手順に従い、地上アナログ放送のチャンネル設定を行ってください。

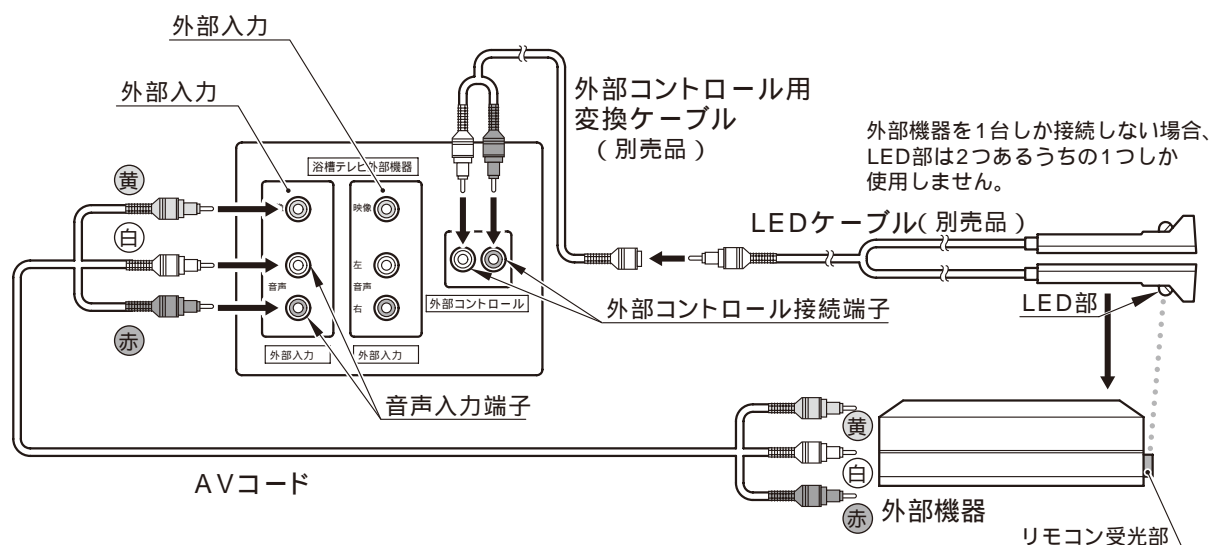
④地上アナログ放送が正常に受信出来ることを確認したら、続けて25〜27ページの手順に従い、地上デジタル放送のチャンネル設定を行ってください。

外部機器用ケーブル接続の施工をした場合

⑤実際に外部機器を接続して動作確認をしてください。

施工の前に
システムバスルーム及び在来浴室施工要領
共通施工要領
その他

12 試運転（つづき）

⚠注意

LEDケーブルは映像機器のリモコン受光部に向けて設置し、マスキングテープ等で仮固定する

動作確認後、必ずリモコンコード設定を解除する（設定クリア）

- 28〜29ページをご覧ください。

試運転の際、故障かな？と思ったら

不具合の内容	チェックポイント
電源が入らない	電源は正しく接続されていますか？ 屋内開閉器はオンになっていますか？ →電源を正しく接続し、電源をオンにしてください。 ※初めて電源をオンにする際は、地上デジタルチューナーに電気を供給する時間が必要なため、約1分待った後にモニターをオンにしてください。 〈モニターの電源ランプが点灯しない場合〉 ブレーカー（AC100V）を「切」/「入」してください。ブレーカーを「入」にして約1分待った後、モニターの電源ボタンを押してください。
映像が映らない	モニター中継ケーブルは正しく接続されていますか？ アンテナは正しく設置されていますか？ →アンテナ線およびアンテナを正しく接続・設置してください。 地上デジタル放送を受信するためには、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが別途必要です。
映像が悪い	モニター中継ケーブルはしっかりと接続されていますか？ アンテナ線が他の電気機器の上を通ったりしていませんか？ アンテナの向きは正しいですか？ 周囲に雑音となる原因がありませんか？ →モニター中継ケーブルをしっかりと接続し、アンテナ配線およびアンテナの向きを調整してください。また雑音の原因を取り除いてください。

お問合せ先

中野エンジニアリング株式会社

〒918-8239　福井県福井市成和2丁目705番地

■ カスタマーサービス

TEL 0776-88-0812　受付時間 10:00〜17:00（平日）

連絡していただきたい内容

- □ご住所・お名前・電話番号
- □製品名・浴室テレビ（14型ワイド）
- □品番：WP-1400
- □お受取日
- □故障内容・異常状況（可能な限り詳しく）

※同梱のリモコン、リモコンホルダー、リモコンホルダー用両面テープ、ボタン型電池、取扱説明書、保証書は、お客様または建築工事　責任者様に確実にお渡しください。

地上アナログ放送の設定をする

リモコンから地上アナログ放送を受信するための設定をします。

● **「地上アナログ設定」は地上アナログ番組を視聴中のみ表示されます。**

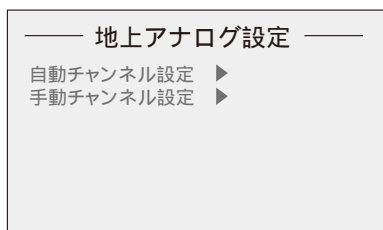
自動チャンネル設定

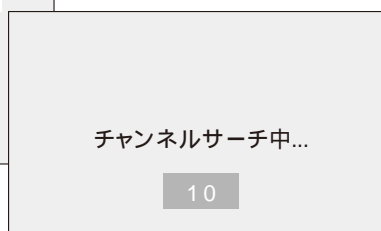
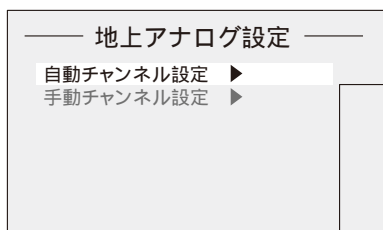
自動でチャンネルサーチをして各放送局（チャンネル番号）をリモコン番号「1」～「30」に自動的に割り当てます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 ボタンで「地上アナログ設定」を選ぶ

地上アナログ設定メニューが表示されます。

3 で「自動チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

決定ボタンを押すと、チャンネルサーチが始まります。チャンネルサーチが終わると、「チャンネルサーチ終了」画面が表示されます。

4 決定ボタンを押す

チャンネル設定後、地上アナログ放送が正常に受信することを確認してください。

地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送を受信するための設定をリモコンから行います。
「地域設定」「チャンネル自動設定」の2つを設定する必要があります。

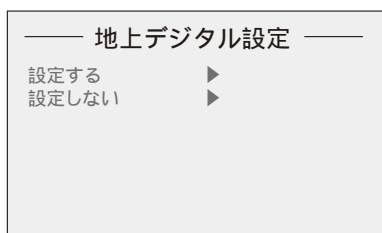
- **はじめに、地上デジタル放送のメニュー（「地上デジタル設定」）を画面に表示させる必要があります。**

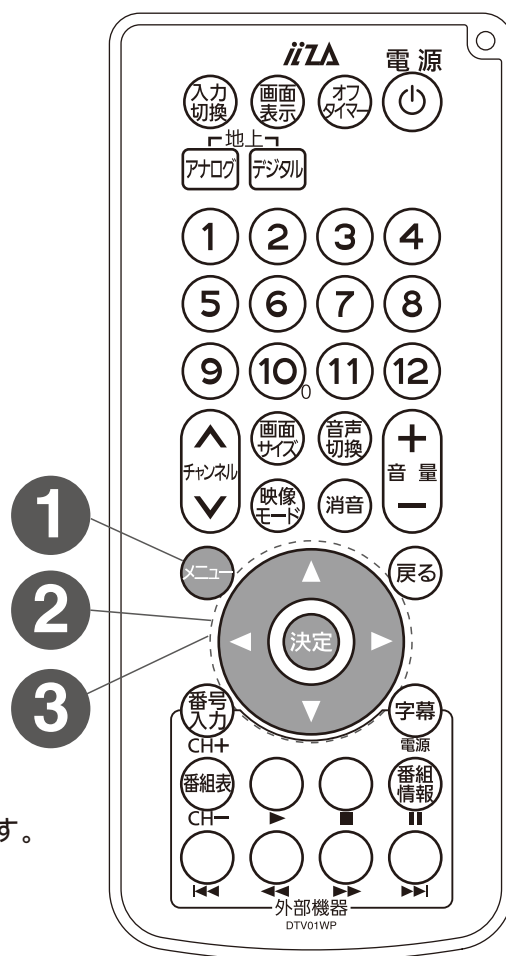
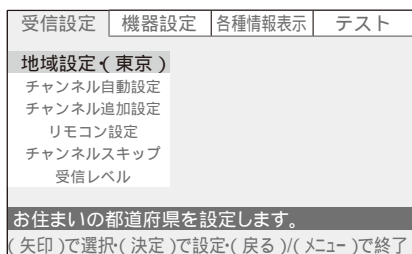
※「地上デジタル設定」は地上デジタル番組を視聴中のみ表示されます。

地上デジタル放送のメニューを表示するには

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 ◎ で「地上デジタル設定」を選ぶ

3 ◎ で「設定する」を選び、決定ボタンを押す

地上デジタル設定メニューが画面に表示されます。

引き続き「地域設定」（26ページ）を行ってください。

地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送を視聴するためにお住まいの地域の設定をします。

都道府県の設定

1 ボタンで「受信設定」の「地域設定」を選び、決定ボタンを押す

地域の一覧が表示されます。

2 ボタンで都道府県を選び、決定ボタンを押す

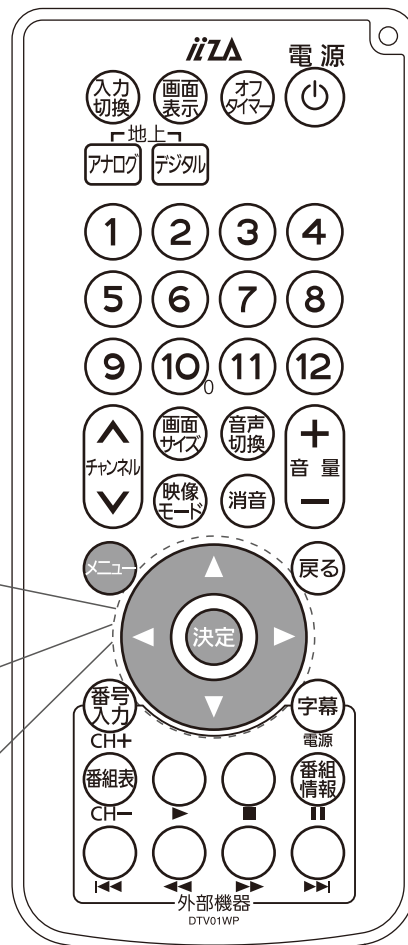
選択した地域の県または市の一覧が画面に表示されます。

「北海道」を選択した場合
→北海道の市の一覧を表示
その他の地域を選択した場合
→該当地域の県の一覧を表示

3 ボタンで県または市を選び、決定ボタンを押す

地域設定を終了します。

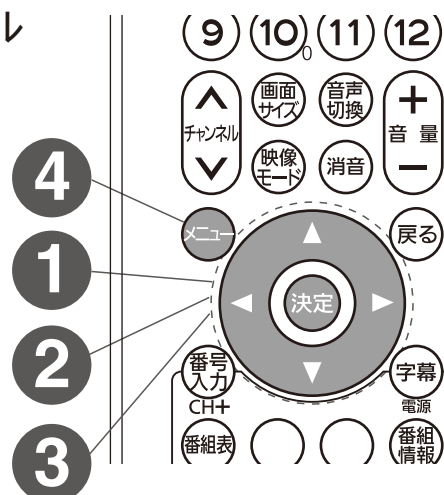
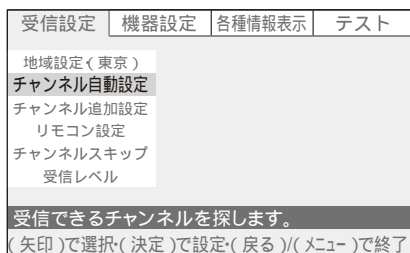
地域設定をした後、引き続き「チャンネル自動設定」（27ページ）を設定してください。

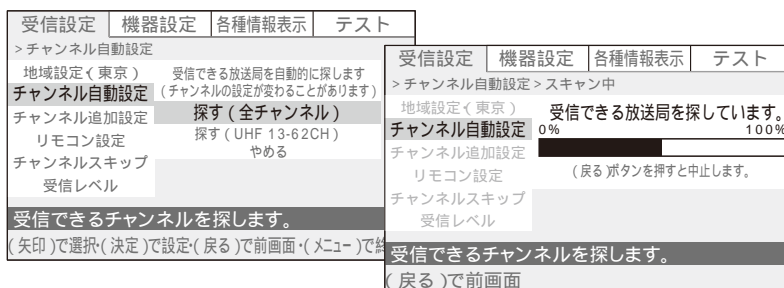
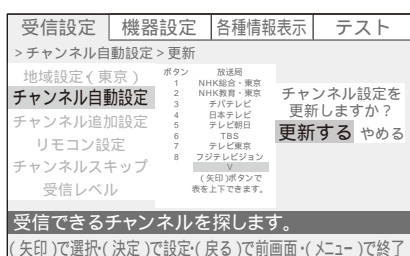
共通施工要領

地上デジタル放送の設定をする

チャンネル自動設定

お住まいの地域で受信できる各放送局を自動的に検索し、視聴可能状態に設定します。

1 ボタンで「受信設定」の「チャンネル自動設定」を選び、決定ボタンを押す

チャンネル検索画面が表示されます。

2 ボタンで「探す(全チャンネル)」を選び、決定ボタンを押す

受信できる放送局を自動的に検索し、画面に表示します。
(チャンネル番号「1」〜「12」)

3 ボタンで「更新する」を選び、決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押す

チャンネル設定後、地上デジタル放送が正常に受信することを確認してください。

13 リモコンコードを設定する

浴室テレビのリモコンに接続した外部機器（ビデオ・DVD等）のボタンを割り当てます。

⚠注意

必ず実行

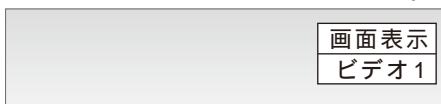
外部機器を付属のリモコンで操作するには、別売品の外部コントロール用変換ケーブル、LEDケーブルが必要です。

- 別売品については、弊社までご連絡ください。（裏表紙記載）

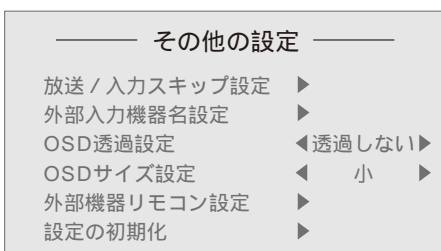
- 外部機器（ビデオ・DVD等）付属のリモコンから発信される信号を、浴室テレビに登録することで、ビデオやDVD等を浴室内から操作する事ができます。
- このリモコンコードの設定には、外部機器（ビデオ・DVD等）付属のリモコンが必要です。
- 以下、外部機器がDVDまたはビデオの場合を例にして説明します。
  手順に従ってリモコンコードを設定してください。

1 入力切換ボタンを押す

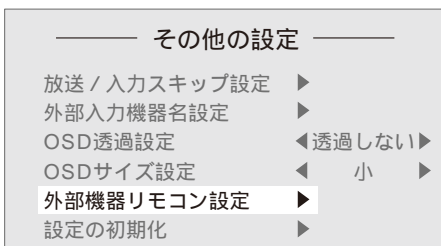
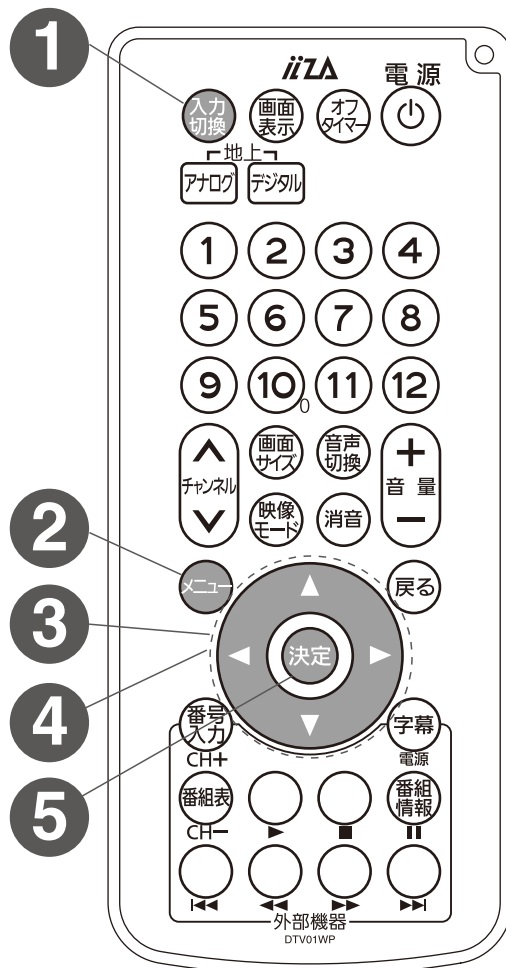
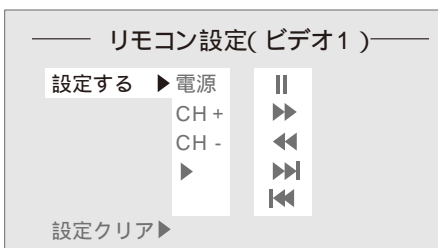
設定したい入力に切り換えます。

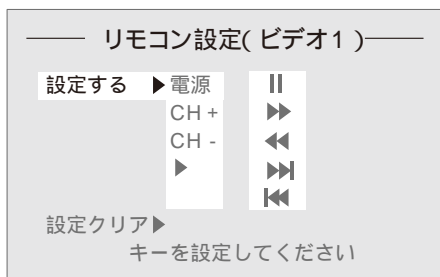
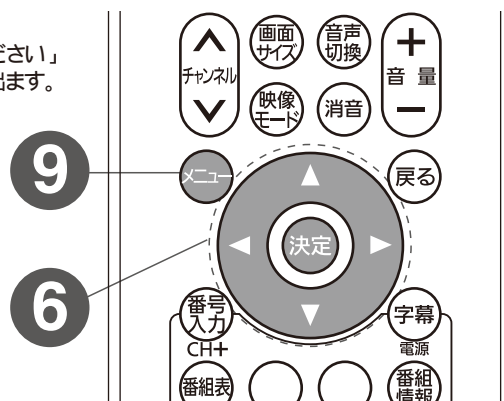
画面表示
ビデオ1

2 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

3 ボタンで「その他の設定」を選ぶ

4 ボタンで「外部機器リモコン設定」を選び、決定ボタンを押す

5 ボタンで「設定する」を選び、決定ボタンを押す

CONTENTS
施工の前に
システムバスルーム及び在来浴室施工要領
共通施工要領
その他

13 リモコンコードを設定する（つづき）

6 ボタンで設定したいリモコンキーを選び決定を押す

「キーを設定してください」というメッセージが出ます。

7 設定したい外部機器リモコンを用意して選択したボタンを押す

この時、選択したいボタンは設定完了まで押し続けて下さい（ボタンを押し続けないと登録できないことがあります）。

「設定終了です」というメッセージが出ます。
設定が終わったリモコンキー表示は白→緑になります。

8 手順 6, 7 を繰り返して設定したいキーを登録します

9 設定が終わったらメニューボタンを押す

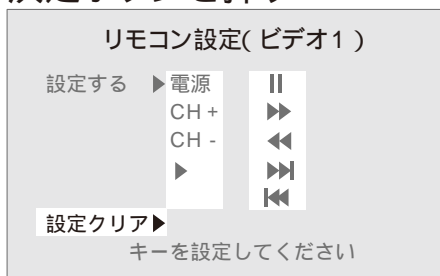
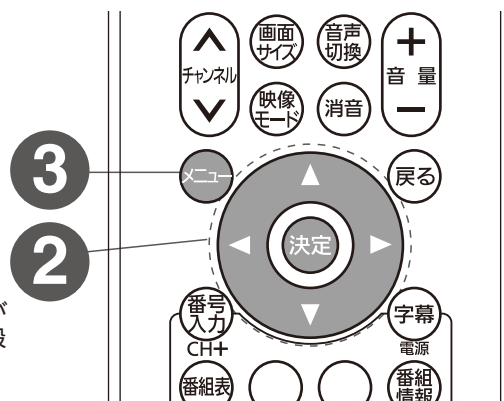
操作を終了します。

リモコンコードを設定解除する

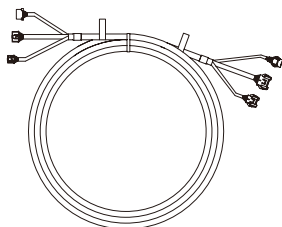
※お客様へお引渡しされる前に必ず試運転で使用したリモコンコードは設定の解除をお願いします。

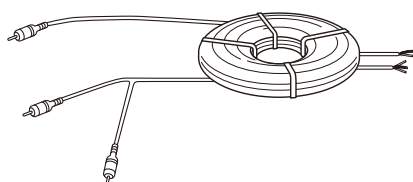
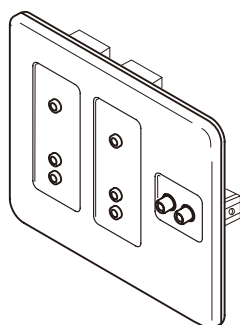
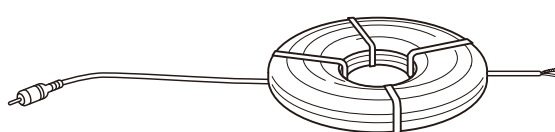
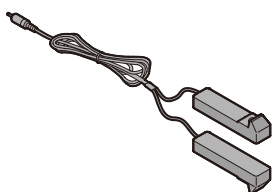
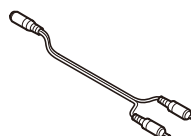
1 機能設定の「外部機器リモコン設定」を選び、決定ボタンを押す

28ページの ❶～❹を参照してください。

2 ボタンで「設定クリア」を選び、決定ボタンを押す

リモコンキー表示が緑→白に変わり設定クリアとなります。

3 メニューボタンを押す

操作を終了します。

14 別売品

延長用モニター中継ケーブル（7m）	モニター中継ケーブルを延長する場合に必要になります。※中継ケーブルは延長用モニター中継ケーブルを使用することによって全長14mまで対応可能になります。（それ以上の延長はできません。）

外部入力用ケーブル×2	外部コントロール用ケーブル

部品	数量
AV用信号コンセント	2
オーディオ用信号コンセント	1
取付枠	3
プレート（プレートカバー、プレート枠）	1

LEDケーブル	外部コントロール用変換ケーブル

お客様がテレビと外部機器の接続を希望され、浴室内からリモコンを使って外部機器を操作することを希望される場合に必要になります。
※別途「9.外部機器用ケーブルの接続」（16～18ページ）が必要です。

※各別売品の仕様や外観は機器改良のため、予告なく変更することがあります。
別売品についてのご質問は、弊社（裏表紙記載）までお問い合わせください。

⚠ システムバスルーム後付け時のご注意

- 穴あけ前に必ずケーブル類の配線スペースがあることを確認してください。
- 穴あけ位置にシステムバスルーム壁裏配管やケーブル類、建築側柱など干渉物がないことを確認してください。
- ケーブル類の壁裏配線は針金などを使用し実施してください。この際、ケーブル類を傷つけないようにご注意ください。

iiZA

中野エンジニアリング株式会社

〒918-8239　福井県福井市成和2丁目705番地

■ お問い合わせ先（カスタマーサービス）
TEL 0776-88-0812　受付時間 10:00～17:00（平日）

2011.4 改訂